

◆ 第2期 ICAS がスタート! ◆



2006年4月に地球環境と社会の持続性(サステナビリティ)を確保するための新しい学問を創造することを目的として、サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)が発足しました。IR3Sの統括の下、茨城大学でも気候変動への適応のためのサステナビリティ研究を中心テーマとした、ICAS(地球変動適応科学研究機関)が2006年5月1日に発足しました。

これまで ICAS をはじめ IR3S の参加大学は、文部科学省の科学技術振興機構の助成により、サステナビリティ学研究のための拠点育成という位置づけで運営されてきました。そして2010年3月末でその育成期間が終了し、4月からは IR3S は「サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)」という名称に変わり、IR3S の参加大学はネットワークを維持しつつも、それぞれ独自の道を歩むことになりました。とりわけ ICAS では、第2期 ICAS として今後もサステナビリティ学の構築に向けた活動をこれまで以上に展開していきます。

今年度から ICAS ではこれまでの第1、第2、第3部門に加えて、「新しい安全・安心社会のあり方」を研究する第4部門を新設する他、兼務・協力教員も増員させるなどし、より一層、活動を拡大していく予定です。また5月には第2期 ICAS キックオフ・ミーティングが開催予定で、今後の方針や理念の再認識と明確化が図られます。

2010年4月より ICAS は新しい1歩を踏み出します。この4年間で得られた成果と課題を糧にして、今後も研究、教育、社会活動など、あらゆる方向でサステナビリティに関する取組みに励んでいきます。



◆ 城里町でエコ・グリーン・ショップ「響(ひびき)」がオープン! ◆

城里町商工会ではこれまで ICAS をはじめ、他の地域団体と協力しながら、サステナビリティに関わる地域主体の活動を展開してきました。一連の取組みの成果として、このほどエコや地産地消をコンセプトにした、エコ・グリーン・ショップ「響(ひびき)」がオープンに至りました。「響」では地元農産物や EM 関連商品の販売の他、環境問題や地域づくりに関する書籍やポスターの展示も行い、地元の方の交流や情報交換ができる場を提供することを目指しています。

2010年3月6日のオープン日には、大勢の方が立ち寄って下さり、地元原料を使った手作りパンが完売するほどの大盛況でした。今後も一時的な関心の高まりに終わることなく、憩いの場として地域に根付いていくように持続的に運営していくことが目標です。

ICAS でも「響」をはじめ城里町商工会の活動に協力しつつ、サステイナブルな地域づくりの具体像について考えていきます。



☆☆☆ 響(ひびき) ☆☆☆
 営業日：毎週火曜～土曜
 営業時間：10時～18時
 住所：茨城県 城里町 石塚 1178-3
 TEL/FAX: 029-288-7521

2010年度 ICAS カレンダー

4月	新年度スタート 4/12 第1回 ICAS セミナー 4/19 第2回 ICAS セミナー	10月	3者連携シンポジウム(三の丸ホテル) ベトナム国家大学・集中講義(ベトナム) 10/30 第1回「サステナビリティ学最前線」(大学院)
5月	5/10 第3回 ICAS セミナー 5/24 第4回 ICAS セミナー 5/28 ICAS キック・オフ・ミーティング	11月	ICAS 教育シンポジウム(ELIAS) 11/6 第2回「サステナビリティ学最前線」(大学院) 11/13 第3回「サステナビリティ学最前線」(大学院)
6月	6/12 第1回「サステナビリティ学入門」(学部) 6/23-25 ICSS-Rome(ローマ) 6/26 第2回「サステナビリティ学入門」(学部)	12月	ICSS-Asia(ハノイ)
7月	7/10 第3回「サステナビリティ学入門」(学部) 7/27 グリーン・イノベーション・シンポジウム ベトナム国家大学・集中講義(ベトナム)	1月	
8月	Cities at Risk ワークショップ(バンコク) 8/21-29 国際実践教育演習	2月	
9月	国内教育実践演習	3月	第4回学生サステナ・フォーラム

*網掛けは ICAS が主催する企画です ICAS の予定に関するお問い合わせは ICAS 本部まで icas@mx.ibaraki.ac.jp

◆ 活動報告 ◆ 第4回地域サステナワークショップ



2010年2月24日 13:30から16:45まで、茨城大学水戸キャンパス環境リサーチラボラトリー棟遠隔講義室において第4回地域サステナワークショップが開催されました。城里町商会・筑西市明野商会・W-BRIDGE事務局・早稲田大学・桜田門外ノ変映画化支援の会等より22名のご参加をいただき、6件の活動報告講演と総合討論、さらに展示スペースではエコ関連商品実演・展示や試食などの活発な発表と交流をいただきました。

◆ 活動報告 ◆ 第一部門国際フォーラム



2010年2月22日 9:00から16:30まで茨城大学日立キャンパスインベションルームにおいて第一部門国際フォーラム「気候変動が自然災害に及ぼす影響とその適応」が茨城大学ICAS主催・東京大学IR3S後援により開催されました。Chungsik Yoo博士(韓国)、Absornsuda Siripong博士(タイ)らによる5つの講演と総合討論に和やかな懇親会が続き、内外から60名以上のご参加をいただきました。

◇ バイオエタノール混合燃料車両の試乗会の実施 ◇



2010年3月26日に水戸キャンパスにおいて、バイオ・エタノール混合燃料車両の試乗会が開催されました。この試乗会は、スイートソルガムという農産物から製造したバイオ・エタノールを実際に3%、および10%配合したガソリン(E3、E10)を自動車に給油して、走行させるという企画です。

海外では、トウモロコシやサトウキビを原料としたバイオ・エタノールがすでに実用化されていて、実際に自動車の燃料として使用されています。しかし、茨城大学農学部やICAS第2部門が中心となり研究を進めている、スイートソルガムから製造したバイオ・エタノールの実用は前例がなく、おそらく世界初の試みです。

実用化に向けて、経済面や制度面などでさまざまな課題が残されていますが、大きな第1歩となったことは間違いありません。

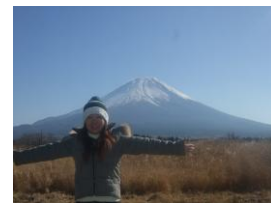
この試乗会には、自治体関係者や企業などの多くの方が参加し、多数の地元メディアでも紹介されました。

◆ メンバー紹介 ◆

お名前 (よみがな)

内田 尚子 (うちだ なおこ)

ICAS日立キャンパス
事務スタッフ



こんにちは。
昨年の11月からICAS日立キャンパスで事務を担当しております。こちらで働いてから初めてフォーラムやワークショップのお手伝いをさせていただきましたが、日々の生活の刺激になるようなお話を聞けずごく勉強になりました。



これからも先生方や他のスタッフさんのお手伝いを一生懸命させて頂きたいと思います。

宜しくお願い致します。

◆ 活動報告 ◆ 第3回学生サステナフォーラム



2010年3月2日 10:00から15:00まで茨城大学水戸キャンパス茨城会館においてガジヤマダ大学学長講演会および学生サステナフォーラムが70名を超える参加をいただき開催されました。学生サステナフォーラムの大きな特徴は、学部や研究科の枠を越えて普段の研究の成果を異分野の学生同士で報告・議論し合う点にあります。

第3回目となる今回のフォーラムでは、学部生・大学院生による研究ポスター発表が50件を超え、午前と午後に分かれてのポスター説明に皆熱心に聞き入り活発な質疑応答や議論がなされていました。フリーディスカッションでは軽食をとりながら最優秀ポスター賞2名と優秀ポスター賞1名の受賞を祝いました。参加学生のほとんどが学部4年生や大学院修士課程2生であり、このフォーラムを大学生活最後の思い出にして、社会に羽ばたいていきました。

ICAS on MEDIA

===== IR3S 季刊誌『サステナ』 総集編号発刊 =====

2006年7月の0号から2010年1月の14号まで、約4年間に渡って刊行された『サステナ』の総まとめ号です。ICASのメンバーもIR3S発足時の苦労話などを紹介しています。『サステナ』は一旦一区切りという形になりますが、今後も継続できるように検討中です。

Editor's Note



4月よりICASでは新メンバーが加わり、新たなスタートを切りました。第2期ICASでもICAS Newsはどんどん発行していきますので、ご愛読よろしくお祈いします。(R.H.)